

白石の農×育てる人

～農家の輝く姿を情報発信！～

2カ月に1回、白石のすてきな農家さんを紹介していきます！ 私たちの身近にある「農業」の情報を楽しくお届けします。

今回は、地域農業の6次産業化に個人で取り組んでいる「村上さきさん」について紹介します。



☎農林課 ☎22-1253

むらかみさんちとは

市内で数少ない自宅敷地内の加工施設で6次化に取り組んでいる個人農家の村上さきさんは、「むらかみさんち」の屋号でおもしろい市場などでさまざまな商品を販売しています。

米農家に嫁ぎ、自らも大型農業機械を運転し旦那さんと一緒に米作りに励んでいます。15年ほど前、将来の米価下落に備えて付加価値のある農業に取り組むことが必要だと考え、栽培しているもち米を使った加工品の製造・販売の取り組みを始めました。現在では、約50種類の商品を作って販売しています。

商品作りのこだわり

さきさんが大切にしていることは、自分で栽培した原材料を使い、幼いころに祖母から教わった調理方法で手作りすることです。祖母の教えである「食べてくれる方を思って手早くきれいに丁寧に」という言葉を大切に商品を作っています。

素材本来の味を引き出せるよう丁寧に手作りしているため作れる数には限りがあり、数多くの注文をいただいたときには、夜明け前から夕方まで一日中商品を作っています。長時間の作業から休んでしまいたいと思うときもありますが、お客さまからの「むらかみさんちのはおいしいね」という声がやりがいになっています。

残したい昔ながらの味わい

さきさんは、商品を作るときに自分たちが昔から食べてきた「懐かしい味」を引き継いでいけるよう心掛けています。地域の郷土食として、農家ではお餅や笹巻きなどは各家庭で作っていましたが、最近はそのような家庭も少なくなりました。さきさんは、昔ながらの素朴な味を、地域や子どもたちに残していきたいという思いを込め、手作りにこだわっています。

昔ながらの味わいを残しながら、お客さまの声に応えるため、新商品作りにも挑戦しているさきさんの今後の活躍に注目です！



▲さきさんのトレードマークが付いた商品ラベル



▲幅広い年齢層に絶大な人気を誇るよもぎ大福と草餅



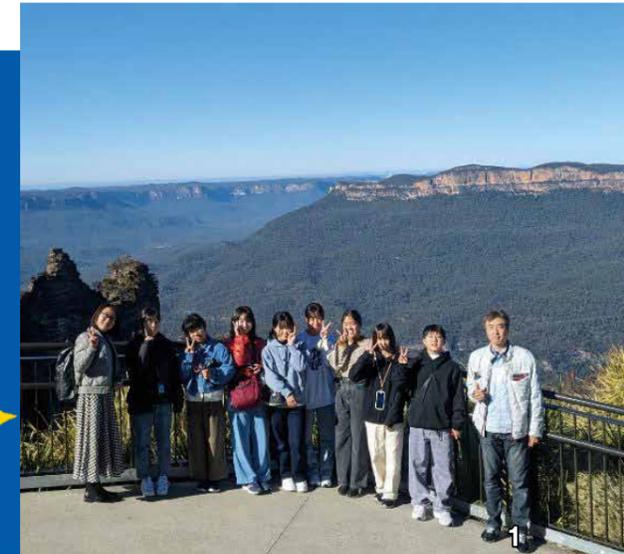
▲ロングセラー商品の一つ。甘口と辛口の2種類があります

～生徒たちがオーストラリアで過ごした日々～

「オーストラリア友好親善訪問団」 派遣期間中の様子

現地では、普段とは違う学校生活に刺激を受けながら、充実した日々を過ごしました。また、ホストファミリーとの生活やカウラ、シドニー市内見学など、学校以外でも楽しい時間や貴重な体験をすることができました。

この経験は、生徒たちの将来の夢や目標に大きな影響を与えてくれたのではないのでしょうか。



出発当日、生徒たちの表情はとても明るく、期待で胸を膨らませていました。約13時間のフライトを終え、オーストラリア入りした訪問団。

交流先であるラファエル校では、先生方の案内のもと、カウラ市内にある日本人戦没者墓地や日本庭園などを見学し、日本とカウラの歴史的なつながりを学びました。さらに、ラファエル校の生徒に向けて、日本や白石市にまつわるクイズの披露や、班ごとに分かれて書道・折り紙・茶道を体験してもらう活動を行いました。派遣前から準備してきた甲斐もあり、大盛況に終わることができました。

また、ホームステイでは、ホストファミリーの農業の手伝いや日本では見かけない動物と触れ合うなど、家庭ごとにさまざまな時間を過ごしました。お別れの際は、充実した日々を過ごさせていただいたホストファミリーへ感謝の気持ちを伝えていました。

そのほか、シドニー市内のオペラハウスやセントメアリー大聖堂、ブルーマウンテンの見学、(一財)自治体国際化協会(略称:クレア)シドニー事務所を訪問して、現地で働く日本人スタッフから貴重な体験談を聞くなど、生徒たちにとってかけがえのない思い出となりました。

- 1_絶景広がるブルーマウンテン
- 2_全体発表のクイズは大盛況!
- 3_書道の説明に真剣に耳を傾けるラファエル校の生徒たち
- 4_ホストファミリーが飼っている羊のお世話をお手伝い
- 5_ホストファミリーと学校に登校
- 6_シドニー市内を見学!

